

新入生合宿研修を終えて

学生支援委員会委員
 歯周診断・再建学分野・助教 島田靖子

平成22年4月10日(土)、11日(日)の2日間、新潟大学歯学部新入生合宿研修が、メイワサンピア(平成22年3月にウェルサンピア新潟から名称変更)で開催されました。この研修は歯学科および口腔生命福祉学科の新入生および3年次編入生を対象として行われるもので、本年度は歯学科45名

(3年次編入生5名含む)、口腔生命福祉学科26名(3年次編入生6名含む)の計71名の新入生が参加してくださいました。また運営にあたっては、教員23名、学生アシスタントとして歯学科2年生の学生4名、学務係より2名の29名が参加いたしました。

【日 程】

4月10日(土)		4月11日(日)	
8:35	歯学部出発(バス)	6:30	起床
9:15	会場到着・写真撮影	7:00	朝食
9:30	全体ガイダンス I	7:45	学生によるガイダンス
10:50	自己研鑽セミナー I	8:15	全体ガイダンス II
12:30	昼食	9:00	BLS 講習
13:30	自己研鑽セミナー II	11:20	閉会式
17:00	入浴・自由時間	12:15	歯学部着・解散
18:15	夕食(クラブ・Wホーム紹介)		
20:00	教員との懇談		
22:00	就寝		

4月10日(土)

メイワサンピアに着くとすぐに集合写真の撮影が始まります。あまりの展開の早さに学生さんたちも戸惑い気味?(写真1)その後すぐ会場に移り、全体ガイダンス I が開始されます。ここでは

前田学部長、興地副病院長よりご挨拶をいただき、参加スタッフの自己紹介、歯学部カリキュラムの説明、全国共用試験の説明、院内感染対策についての指導、学生支援とセクハラ相談についての説明が行われます(写真2)。



写真1



写真 2



写真 3

このあと、歯学科・福祉学科、1年生・3年次編入生、男子・女子学生が混じった各9～10名の8班に分かれて活動を行います(写真3)。ネームプレートにニックネームを記載したあと、簡単な自己紹介を行い、自己研鑽セミナーIに取り組みます。最初のミッションはNASAの問題。“砂漠に不時着した飛行機から生きのびるために、所持している12の品物から持ち出すものの順位を決定する”というものです。“水？ 食塩？ ピストル……？”初対面の班員の意見をまとめるというのはなかなか難しいことです。最後に各班の結果の答え合わせが行われ、最も生きのびる可能性のある班と可能性のない班が発表となり、午前中が終了します。

昼食後は、自己研鑽セミナーII“歯科医療に携わる者に求められるプロフェッショナリズムについて考える”が行われました。昨年までは“面接試験にもの申す一異論・反論・オブジェクション”というテーマで行われていたのですが、今年は藤井教授を中心に新しいテーマに取り組みました。これは、各班でのディベートによってそれぞれが思う歯科医療人の理想を考えてもらい、将来像をイメージしてもらうことをねらいとしています。①治療は上手だけど思いやりに欠ける歯医者、②治療は下手だけどとても患者様思いの歯医者、について各班でさらに2つのグループに分かれてそれぞれの正当性を話し合います。話し合いの結果、各班で“歯科医療に携わる者に求められるプロフェッショナリズムとは？”という命題に対する答えを模造紙にまとめて、みんなの前で交代で発表し、質疑応答を行います(写真4)。数ヶ月



写真 4

前までは高校生であったであろう学生さんが、一生懸命に自分はどんな歯科医師・歯科衛生士になるべきかと考えている姿をみてとても頼もしく思える時間でした。

夕食時には先輩方によるクラブ紹介があります。スライドあり、チラシあり、コントあり……先輩も新入生勧誘に必死です。その後教員との懇談会があり、1日目が終了します。

4月11日(日)

7時45分より2年生の学生さんによるガイダンス、8時15分より全体ガイダンスIIが行われました。ここではクラス幹事の選出が行われました。

9時から歯科侵襲管理学分野 瀬尾教授のご指導のもと、BLS (Basic Life Support) 講習があります。意識のない人に行う一次救命処置です(写真5)。実際に歯学部内で学生さんが倒れていた患者様に行った救命処置の例を聞いて、みんなの目にも真剣な色が浮かびます。マネキンを用いて、気道確保、人工呼吸、心臓マッサージ



写真5



写真6

を行い、AED(自動体外式除細動機)の使用法まで実習を行います(写真6)。また、窒息している人を救助するためのハイムリック法についても学びました。

実習で汗だくになったところで、閉会式を迎え(写真7)、歯学部で解散となります。

2日間の合宿でぐったりした私が帰宅しようとする、いくつかの学生さんたちのグループを見かけました。これからみんなで帰るのかな? ランチかな? 買い物かな……? 少なくともこの合宿前は面識のなかった学生さん同士が、談笑しながら歩いているのを見るととてもうれしい気持ちになりました。この合宿が皆さんの学生生活のスタートを切るのに有意義な後押しになれば、と切に願っています。



写真7

